

NLMC 翻訳から 10 年：翻訳後の変化の調査

橋本 郷史

東邦大学医学メディアセンター 大橋病院図書室

【目的】米国国立医学図書館分類法(以下 NLMC)の、最後に日本語に翻訳されたバージョンは 2016 年版である。翻訳から 10 年が経ち、NLMC には多くの変更が加えられた。翻訳版と最新版にどのような差が生じているかを確認するため、10 年間の変化を調査した。

【方法】NLMC は 2017 年以降、冬(1 月頃)と夏(9 月頃)に毎年 2 回ずつ改訂されている。改訂内容はその都度 Technical Bulletin として公表され、そこには、変更内容の量的な概要(xx 個の分類番号が追加された、など)と、記述による説明が含まれる。2017 年 1 月から 2026 年 1 月までの 19 回の Technical Bulletin を用いて、量的な変更の全体像と各改訂の内容を確認した。また、NLMC の分類番号の追加と削除を累積でリスト化した Cumulative List が別途公開されている。そこには、追加・削除された分類番号がいつの改訂でどこから移動してきたか(どこへ移動したか)、という情報が掲載されている。Cumulative List を用いて、分類番号のより詳細な変更内容を確認した。

【結果】変更の種類には、追加(Add)、修正(Modify)、削除>Delete / Cancel)の 3 種類がある。また、変更が発生する箇所は大まかに、索引語(index heading)、分類番号(class number)、分類表見出し(schedule header)、の 3 箇所に分けられる。

10 年間で、計 7,845 件の変更が加えられていた。各変更の内訳は表 1 の通りである。

特に NLMC のユーザーに影響するのは、分類番号の追加・削除である。追加と削除が多かった分類の上位のものを書き出したのが表 2 である。列「2016」は 2016 年版時点の分類番号の数である。Added/Deleted の%は分類外から(へ)の移動の割合を表している。

WD は、変更が最も多く、元の分類番号の約 8 割が削除されている。追加も削除も分類外との間で行われており、大規模な再構築があったことがわかる。WD から移動した分類の一部が QU に流入している。

WS は、最も多くの追加があり、その一方で削除は少なかったため、10 年間で最も数が増加した分類になっている。

WJ からは多くの分類番号が外部に移動し、それらが WP に流入している。

これらの分類で何があったのかの詳細や、その他の変更、日本語版との相違点などについて、口頭発表内で報告する。

表 1. 変更種類・箇所のクロス集計表

	Added	Modified	Deleted	SUM
index heading	945	4,058	572	5,575
class number	657	1,161	221	2,039
schedule header	27	184	20	231
SUM	1,629	5,403	813	7,845

表 2. class number 追加・削除数(分類別)

Class	2016	Added (from Out)		Deleted (to Out)	
WD	97	73	(86.3%)	78	(96.2%)
WS	132	83	(43.4%)	7	(0.0%)
QW	210	44	(61.4%)	7	(0.0%)
QU	140	43	(74.4%)	3	(33.3%)
WM	227	43	(53.5%)	1	(0.0%)
WK	94	25	(40.0%)	14	(35.7%)
WJ	84	8	(0.0%)	27	(74.1%)
WP	93	25	(92.0%)	9	(55.6%)